



# まちの話題



問 政策調整課：0869-22-1113

## 今月の表紙

cover photograph



1月8日、市成人式がゆめトピア長船で開催され、新成人309人が出席しました。式典では、新成人を代表して松本優花さん（邑久町虫明）が「今日までわたしたちを支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、これからの人生において、強い気持ちを持ち、夢に向かって歩んでいきます」と誓いの言葉を述べました。式典後は、各地域に分かれて記念行事へ参加。久しぶりに会った友人や恩師との旧交を温めるとともに、中学校時代のビデオの上映やビンゴゲームなどで盛り上がりました。

## 市民活動の拠点に 瀬戸内市まちづくりプラザを開設

12月1日、市民活動の拠点として瀬戸内市まちづくりプラザ（邑久町豊原）が開設されました。これは、NPO法人まちづかい塾、瀬戸内市、瀬戸内市社会福祉協議会、市民活動団体などで構成する「ゆにっと瀬戸内」が、岡山県新しい公共の場づくりのためのモデル事業で取り組んだものです。2月11日（土）からは、市民の皆さんも利用することができます。市民同士の交流、情報交換、会議や市民活動団体の貸事務所などにぜひご利用ください。なお当日は、利用開始記念イベントを行います。詳細は本紙16ページのくらしの情報をご覧ください。



瀬戸内市まちづくりプラザの外観（右下）／手作り作品の展示販売コーナー（左上）

## 健康な生活を目指して 瀬戸内市健康フェスタ 2011



足の健康チェックとフットケア（左上）／会場にも笑顔があふれた講演会（右下）

11月20日、瀬戸内市健康フェスタ2011が「こころの健康～笑顔で咲かそう こころの花～」をテーマに、ゆめトピア長船で開催されました。社会心理学講師・カウンセラーの市場恵子氏が「まっいいかぁ・なんとかなるさぁ」と題してストレスとの上手な付き合い方や笑いの大切さについての講演を行いました。また、会場内では、市内のボランティアや地域の組織、健康に関する活動を行っているグループなどによる介護や健康、歯の相談、気軽にできる体操紹介などのコーナーが設けられ、大人から子どもまで楽しみながら、健康に対する関心を高めることができました。

## 旬の味覚を味わいました 邑久町漁協かきの日イベント



カキの味噌汁は大人気（左下）／カキの保存方法などを尋ねる来場者（右上）

11月23日、道の駅黒井山グリーンパーク内の邑久町漁協直売所で邑久町漁協かきの日イベントが開催されました。このイベントは、全国漁業協同組合連合会が、栄養豊富なカキを食べ、日ごろの疲れをいやしてもらうために勤労感謝の日を「カキの日」と定めているのに合わせて毎年開催されているものです。会場では、殻付きカキやむき身のカキなどが販売され、市価と比べて割安とあって、飛ぶように売れました。また、カキの味噌汁や蒸しガキがふるまわれた無料試食コーナーは、長蛇の列。多くの人が冬の味覚を味わいました。

## 恐竜のことを知ろう クリスマ스에恐竜がやってきた！

12月16日から、瀬戸内市立美術館ギャラリーで「クリスマスに恐竜がやってきた！」を開催しました。最終日の25日に行った林原自然科学博物館の鏗本武久氏を講師に迎えてのワークショップ「めざせ恐竜博士」に多数の子どもたちが参加。鏗本氏は、動植物が死んでも化石になるのはごく一部であることや、モンゴル国南部のゴビ砂漠での発掘調査の様子などを説明。特別展示・ダイノパーツラボで展示しているいろいろな恐竜の「頭」「胴体」「足」「しっぽ」などについての解説も行われ、子どもたちは熱心に恐竜の骨格模型などを観察していました。



鏗本氏の解説に聞き入る子どもたち

## 「見て」「体験して」「感じた」 寒風陶芸まつり

11月3日から6日にかけて、寒風陶芸会館（牛窓町長浜）とその周辺で、寒風陶芸まつりが開催されました。来場者は寒風陶芸の里の作家16人の焼き物と花のコラボレーション展示を楽しんでいました。平成20年に完成した備前焼作家・森陶岳氏の「寒風新大窯」見学では、参加者は長さ85mの大窯の周囲を見学したほか、ビデオで築窯の様子を見たり、平成27年の火入れを目指している窯詰めについて説明を受けました。また「被災地支援やきものバザール」や、干支「龍」の絵付け体験なども行われました。



特別展「時を超えて咲く、陶と花」（左下）／「寒風新大窯」見学（右上）